

2020年度
情報デザインメディアデザイン専攻
卒業研究

大学連携広報活動



大同大学
DAIDO UNIVERSITY

AQPR動画制作
共同卒業研究

「種のこれから」

上岡研究室

D17007	井上	加帆理
D17015	大杉	伊織
D17018	小川	雅史
D17044	鈴木	成弥
D17049	中村	宗生
D17054	西村	春菜



企画に関する資料

- ・ P 1 : 愛知ブランドとは
- ・ P 2 : AQPRとのつながり
- ・ P 3 : 研究課題の経緯について
- ・ P 4 ~ 6 : 企画内容
- ・ P 7 : 動画の公開



制作に関する資料

- ・ P 8 : 制作スケジュール
- ・ P 9 ~ 1 0 : 外枠について
- ・ P 1 1 ~ 1 4 : 種、木について
- ・ P 1 5 ~ 1 6 : 人形について
- ・ P 1 7 ~ 1 8 : 建物について
- ・ P 1 9 ~ 2 0 : 撮影について
- ・ P 2 1 : メイキング映像について
- ・ P 2 2 ~ 2 4 : さいごに（制作陣のコメント）

愛知ブランド企業

モノづくり王国と言われる愛知県では、県内製造業の実力を広く国内外にアピールし、愛知のものをづくりを世界的ブランドへと展開するため、県内の優れたものづくり企業を「**愛知ブランド企業**」として認定しております。

(愛知県産業振興課 愛知ブランドwebサイトより抜粋)





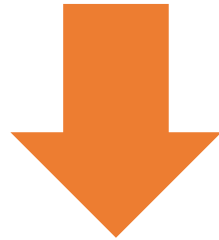
「地域の魅力発信」広報テーマにしている私たちと愛知県が優れたモノづくり企業として認定している「愛知ブランド」企業と愛知県産業振興課の協力を得て、8年前から進めているプロジェクトです。

(上岡研究室webサイトより抜粋)

上岡研究室webサイト

課題提示

- ・ 愛知ブランド企業自体の認知度が低いのではないか
- ・ 学生に愛知ブランド企業について興味をもってもらいたい
- ・ 愛知ブランド企業の就職率を上げたい



2019年春、愛知県産業振興課様から愛知ブランド全体をPRする動画を作成してほしいという依頼を頂き、2年間かけて完成させました。

完成した動画は県WEBサイトトップに掲示される予定です

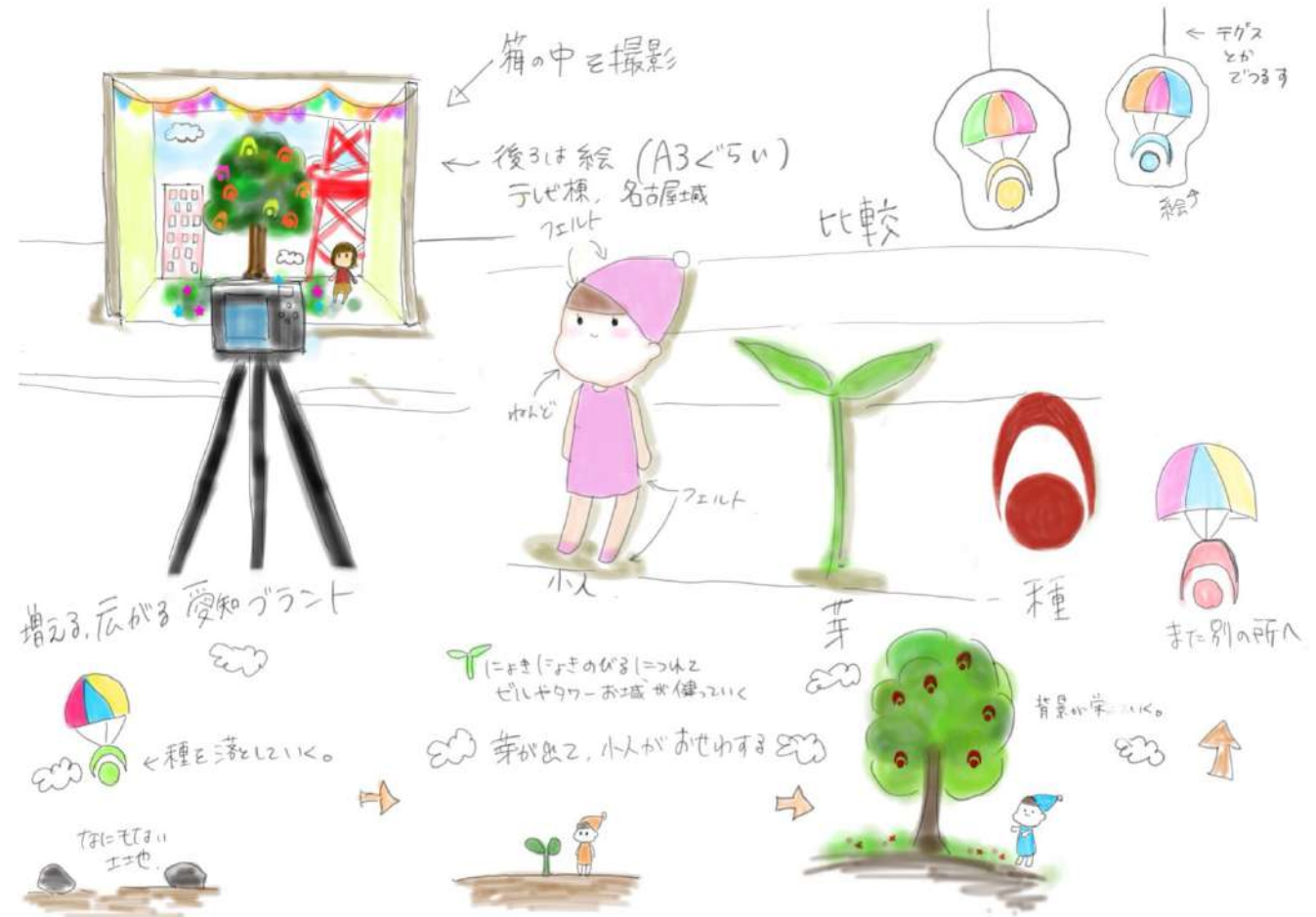


<https://www.pref.aichi.jp>
県サイトトップページ

動画の概要

「地域を発展させ、広がっていく愛知ブランド」
をテーマに親しみやすく
ポップな世界観のストーリーを作成しました。
地域に根ざしたブランドであるという暖かさを
表現できるように、フェルトや粘土などを利用
した

手作り感のあるストップモーションを使用しました。



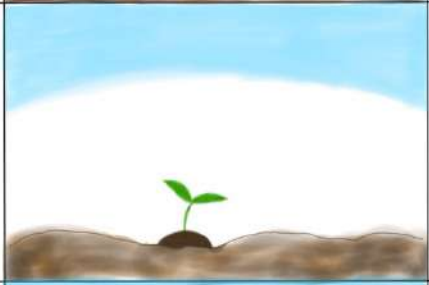
企画段階のイラスト：立案（西村）

アイデア出し時点でのストーリー

	上空に種が飛んでいる そのうちの1個が地面に落下する 他のロゴは右から左へ流れていく。
	落下した種が発芽
	小人が現れる 右から歩いてくる。
	小人が水を上げると、 芽が大きくなる

	芽が成長していくにつれて 小人が増え、街が進化していく 背景に建物が増えていく。 (病院、学校、スーパー...)
	木が成長して、背景の建物も賑わう 木の周りはお花畑、 そこで小人はくつろいだり遊んだりしている
	木に実がなる
	実が成長すると、ふわふわ空を飛んでいく

その後、最初に戻る

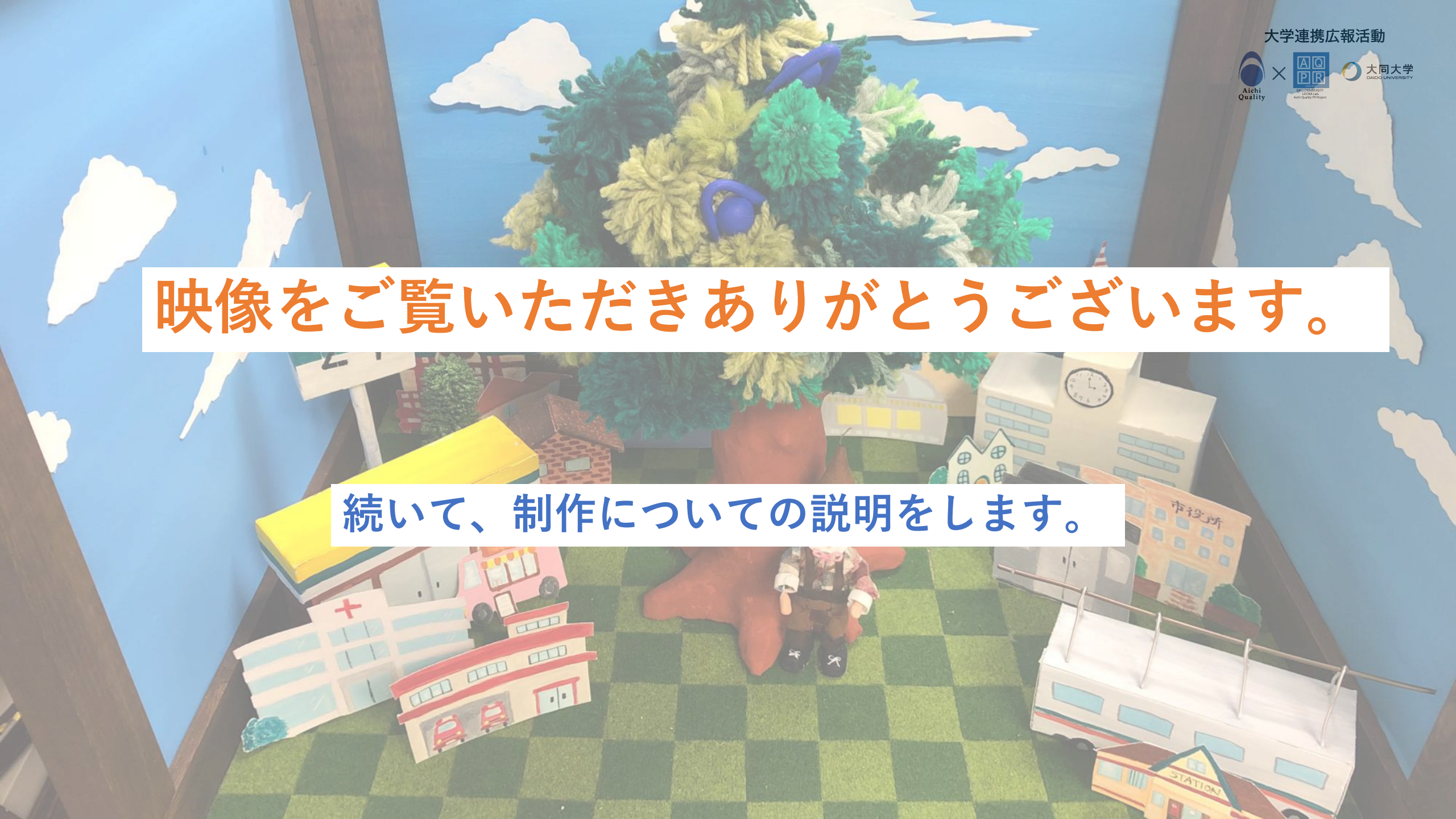
	上空に種が飛んでいる そのうちの1個が地面に落下する 他のロゴは右から左へ流れていく。
	落下した種が発芽
	小人が現れる 右から歩いてくる。 生活に寄り添う。愛知ブランド
	

企画に込められた思い

たんぽぽの綿毛をヒントに、
種を愛知ブランドに見立て、大きな木となって地域を支え
さまざまな世界に飛び立っていく様子を表現しました。

また、地域と共存している愛知ブランドを、小人と小人の
生活を支え、生活の一部となっている木に例えました。

発表映像 1



映像をご覧いただきありがとうございます。

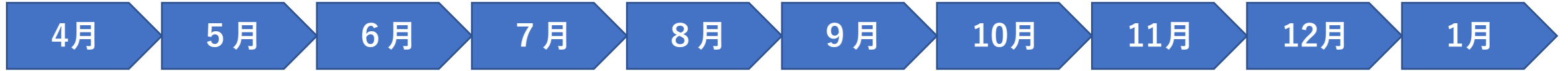
続いて、制作についての説明をします。



全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・企画の確認
- ・材料について
- ・撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

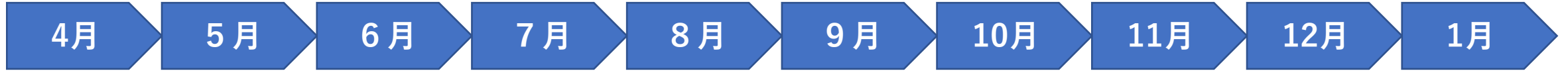
* 撮影期間は教授の指示の下での修正も含む



全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・企画の確認
- ・材料について
- ・撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

* 撮影期間は教授の指示の下での修正も含む

担当：井上・中村・小川

制作時期 ・ 6月～8月

材料：木枠、ニス、接着剤など

工夫した点

- ・ 加工されている木材を再度ニスで塗装し木の色味を変化させた。
- ・ 壁紙の空は一枚、一枚絵具を使って装飾した点。



外枠について 2/2

加工されている木材を再度ニスで塗装し
木の色味を変化させた。

買い出しの時にお店の方に作りたいものを伝え話し合いをし、
極限まで自分たちが作ろうとしている理想の枠組みを作成した。

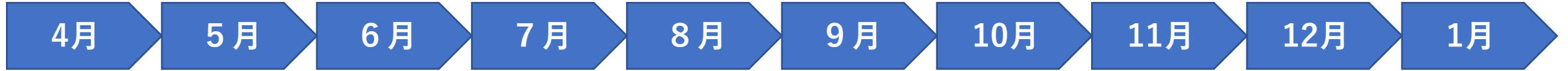




全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・企画の確認
- ・材料について
- ・撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

* 撮影期間は教授の指示の下での修正も含む

種・木について

担当：鈴木

制作時期 ・ 種：7月
・ 木：8～9月

材料：紙粘土、焼き粘土、針金、ビン、毛糸

工夫した点

- ・ 吊るして耐えられる強度と、ロゴの再現性
- ・ 芽の回転機構の搭載。
- ・ 木を針金で内部フレームから作る。



全てで約20個
焼き粘土を使用している

吊るして耐えられる強度と、ロゴの再現性

吊るしても大丈夫な素材で作るために、種は紙粘土ではなく焼き粘土を採用した。

しかし、色についても難点があった。
焼き上げると色がくすみ、きれいな青色ではなくなってしまうことだ。

そのため、焼き上がりの色を踏まえ薄い青色の粘土を使うことに決め、焼くときもくすまぬよう表面だけを焼けるように何度も調整を行った。



全てで 10 種類

芽の段階では焼き粘土を使用し
木の段階で紙粘土を使っている

回転機構の搭載

全部で1カットごとに一つのペースの作成では
膨大な資金と、時間が必要であり
チームメンバーへの負担とならないよう進める
には工夫が必要でした。

そこで、一つの芽を回しながら使用することで
成長しているように見せるために
ツタであったり、段階が変わるごとに枝や葉が
増えていく見た目にした。



針金で内部フレームから作る

焼き粘土を使用する上で大きな壁が存在する一つの量的にも、サイズの大きなものを作ったり、それを仕上げる上で焼くことができないということだ。

紙粘土を使用する上でも、強度について問題があった。

そこで、太めの針金を使用し骨組みから作ることにした。

また、最大サイズになる時には針金だけでも木の形を形成できなくなったため、空き瓶を使用し大きさから強度まで大きく上げることができた。

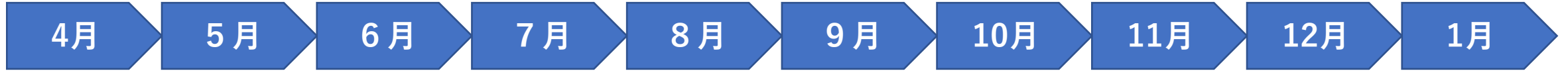




全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・企画の確認
- ・材料について
- ・撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

* 撮影期間は教授の指示の下での修正も含む

担当：西村

制作時期 ・ 7月～9月

材料：紙粘土、針金、布など

工夫した点

- ・ 撮影時にポーズがとれるよう、
針金で骨格から作る。



撮影時にポーズがとれるよう

針金で骨格から作る

撮影時にポーズが取れるように
針金で基礎を作り、
手足、頭を粘土で作成、絵の具で塗装しました。
自立するように、靴は重たい粘土を使用しました。
服を作るのが細かい作業で一番難しかった。

外見は性別を感じさせないようなデザインにしました。

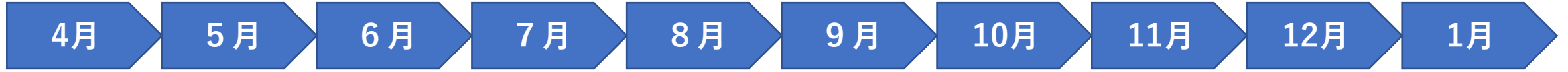




全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・ 企画の確認
- ・ 材料について
- ・ 撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

* 撮影期間は教授の指示の下での修正も含む

建物について 1/2

担当：井上・中村

制作時期 ・ 8月～9月

材料：木枠、ニス、接着剤など

工夫した点

- ・ 立体と平面で表現



立体と平面で表現

立体の建物を作ることにより街の発達を表現しました

平面で沢山の種類の建物を作ることにより
にぎやかな街を表現しました

一番大変だったのはビルを光るようにしましたことです。

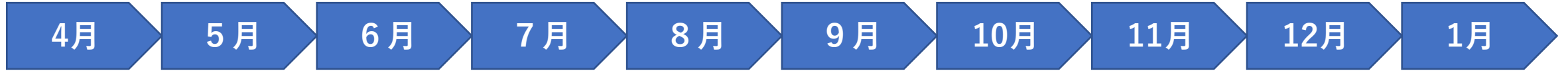




全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・企画の確認
- ・材料について
- ・撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

* 撮影期間は教授の指示の下の修正も含む

①撮影 ーコマーコマ撮影

シーンによって撮り方を変更した。

例えば、種が動くシーンは一連の動きの流れを連続でシャッターを切り、木が成長していくシーンは少し動かしてシャッターを切る動作を繰り返して撮影した。

ストップモーションの動きに不自然さが目立ぬよう、試行錯誤を繰り返しながら納得がいくまで撮り直し続けた。



②撮影 自然な動きの表現を出す為の努力

カメラマンとコミュニケーションを取りながら制作したものを動かして撮影している。

種を飛ばすシーンでは、種の登場のタイミングや動きの速さを調整し、小人が歩くシーンでは小人の体勢や位置を調整した。

また、影などで明るさに支障が出ないように、立ち位置に気を付けながら動かしています。

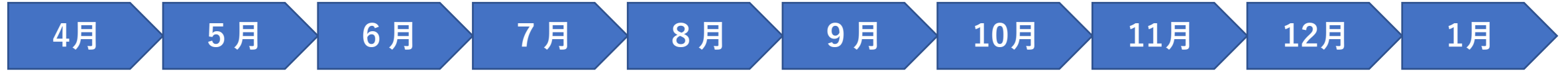




全体で制作を進めた内容



担当ごとに制作を進めた内容



メイキング動画撮影・編集（担当：大杉）

チームメンバー 打ち合わせ

- ・企画の確認
- ・材料について
- ・撮影方法

など

外枠の制作
担当：井上・小川・中村

種・木の制作
担当：鈴木

人形（主人公）の制作
担当：西村

建物の制作
担当：井上・中村

撮影期間

監督：井上

カメラ：大杉
西村

配置：中村

補助：小川
鈴木



修正
完成へ

* 個々の材料買い出し時間なども含む

* 撮影期間は教授の指示の下での修正も含む

担当：大杉

制作時期 ・ 通年

制作過程記録映像

「種のこれから」の制作期間中、記録していた映像を一つにまとめた動画。作品に登場する人形、木、建物や土台、種など、一つ一つがどのような過程でどう制作されたのかを伝え、また各制作過程における活動の詳細や工夫点も紹介している。



愛知ブランド企業はボランティア活動。地域貢献活動などが盛んな企業ばかりで最初にアイデアを作成するときから、**地域と企業の共存をテーマ**にしていました。

製造業のもつ固いイメージを変えられるような、カラフルで温かいイメージで制作。

動画の形ができていくにつれて、様々なところにこだわり、協力して作成することができました。

ラストの種が飛んでいくシーンは全員で協力して撮影を行った一番好きなシーンです。

[人形担当・企画立案：D17054 西村春菜]

- 私は、全体の計画を決めたり指揮をとる担当をしました。みんながよりやりやすく、効率的に制作に取り組めるか日々考えながら進めてきましたが計画通り進まず、スケジュール通りいかなかったことが反省点です。しかし、完成した時の達成感は頑張った人にしか味わえないものだと思うのでやり切って良かったなと思います。

[外枠、建物担当：D17007井上加帆理]

- メイキングでは、どのような画が撮れるかによって編集の仕方が変わるため、私は素材の撮影に最も力を入れたことによって、編集でストーリーを組みやすくしました。しかし、その一方で制作の皆様の手伝いが疎かになりがちになってしまったことは反省点であると思いました。

[メイキング担当：D17015大杉伊織]

- 私は土台作りを担当をしました。何で土台を作るのかなど素材を選ぶところから考え、土台の色や接着方法など細かなところも意識して作りました。完成後一度も壊れることなく撮影が終わったときはこだわって作ってよかったなと思いました。

[土台担当：D17018小川雅史]

- 私は木を担当しましたが、素材によって作り方も変わってくる点が難しかったです。最後に一番大きな木ができた時、イメージどおりインパクトのある大きさにできて良かったと思っています。

[種・木担当：D17044鈴木成弥]

- 立体と平面の建物を作ったのですが、街の発展とにぎやかさをいかに木とリンクしてどう表現するかが難しかったです。最終的には土台いっぱいの建物が作れて良かったです

[建物担当：D17049中村宗生]



ご静聴ありがとうございました！